

やっと心地良い秋だ。先日、台風の前日に茶臼山を歩き、霧に烟る紅葉の始まりを見た。翌日、築300年の豪農熊谷家を見学した際、一人住まいのお婆さんと話した。お蚕さんを育てるための広い囲炉裏端と、そこに集った多くの働き手。急激に進む高齢化と過疎を嘆いた。

医療に携わる我々が常に直面するのは「どこまで延命すべきか」だ。高齢者の更なる長生きを支える家族の気持ちは、その介護力、経済力、人間関係が絡み複雑で割り切れぬ。そこに寄り添い本人と家族の望みに近づけるよう努めねばならぬ。

さらに外来での小児、若年、中年には、病気について年齢に応じて、それぞれの近い将来に役立つ助言が必要だ。求めるものが各々異なる点について、患者さんと家族と我々は想像力を常に持ち続ける必要がある。医療、介護の仕事の大変さとやりがいがある。

ハーブ内科皮フ科 理事長 竹内 秀俊

## 【頭の体操コーナー】

ハーブデイサービス・グループホームでは、認知症予防・維持改善のため、くもんの学習療法を取り入れています。

### 『今も健在“トマト”』

回想法・学習療法デイサービスで最高齢97歳の学習者様のT様。  
「昔、カゴメソースで働いてたよ。ケチャップを瓶につめたり、シールを貼ったりね。他にもアスパラガスやミカンの缶詰を作ってたよ」

始めるまではちょっとお元気がない様子でしたが、始めた途端表情はイキイキ☆次から次へとお話してください。今現在もトップメーカーである“カゴメソース”が100歳近いT様の元職場とは少々驚きました。T様はカゴメソースの事を“トマト”と親しみを込めて呼んでおられます。



学習療法の効果や、ハーブでの取り組みをホームページで紹介しています。ぜひご覧ください。

ハーブ内科 検索

## 【回想法・学習療法デイサービス】

朝晩寒くなってきました。服装に迷う季節です。デイサービスでは皆さんにお声を掛けながら室温には気を付けております。

10月と言えば運動会！22日にスタッフも交えて開催しました。紅白に分かれて白熱したゲームで大興奮！今回初の競技、ストレス発散にぴったりのピコピコハンマーで叩く「もぐらたたきゲーム」。



モグラに見立てた洗面器にねらいを定めて「えいっ！！！」命中すると気分もスカッと☆

一番盛り上がったのは、おなじみの「玉入れ」でした。スタッフも混合リレーで皆様以上に白熱した勝負を繰り広げました。最後の「飴玉探し」では粉まみれで大奮闘しました。来年も色々な競技にチャレンジしたいと思います。

そして、毎月恒例の手作りおやつでは、旬のさつま芋を使った「もちもち黒糖まんじゅう」を作って美味しくいただきました。さすがに皆様手慣れた手つきお見事です。

## 【訪問看護】

先日、院内で災害発生時の対応(火災、地震)について勉強会がありました。東日本大震災の時の宮城県の訪問看護ステーションの出来事、災害後の対応に関する記事に目を通してみました。

「利用者」「自分の家族」「自分自身」の安全確保、安否確認をいかにするのか？どのような防災マニュアルならいざという時にちゃんと機能するのか？いくつかの課題があがり、今何ができるのか…と色々なことをスタッフで考えることができました。皆さんの家でも災害を想定した“備え”今できることを考えてみてください。